

業況リポート

情報連絡員報告

平成21年11月期

製造業

- ◇味噌…原料供給の状況は厳しく、原料在庫を余剰に確保出来ない中小零細業者は特に厳しい。歳暮向け商品として実用品が見直されてきていることから出荷増を期待。
- ◇納豆…流通業界の過当競争と納豆業界の売上減少が止まらない。11月も1社廃業した。このままいけば業界の整理淘汰が急速に進行すると思われる。
- ◇菓子…県内各地で秋のイベントがあり売上は伸びたが、店頭での売上はまずまずで、全体的に景況は保ち合い。
- ◇パン…10月に引続き、インフルエンザによる学校・学年・学級閉鎖で給食や購買部の売上が減少、非常に厳しい状況の中で活動している。
- ◇酒…10月の県内全体の課税移出数量は前年同月比99.0%とまた前年割れとなった。しかし純米酒は着実な伸びを示している。
- ◇繊維製品(袋物)…11月は組合各社とも安定した仕事量を確保できた様子。一時的だが多少残業する会社もあった。
- ◇木材…住宅関連製品の荷動きは低迷状態が続き、秋需による盛り上がりは見られない。全般的に荷動きの鈍さが目立つなど厳しい状況が続いており、市況は弱含み推移。
- ◇プレカット…対前年同月比30%の落ち込み。12月は11月より加工数は増えそうだが先の見通しが立たない。
- ◇段ボール…一部で昨年並みに戻ったところもあるが、ほとんどの会社で昨年より売上が減少。1、2月どれだけ減るか不安。先の見えない状況が続いている。
- ◇印刷(総合)…中堅印刷会社の倒産があった。
- ◇陶磁器…「笠間火器」という耐熱食器を大々的にPRした。消費者の反応も良く今後の展開が非常に面白くなると思う。
- ◇鍍金…仕事量は前年度比7~8割の水準に戻ってきたが、11月後半から受注量が減ってきており年末年始に若干不安がある。金属材料(銅・ニッケル・亜鉛等)は若干の値上がりが見られるが工業製品の値上は歯止めが掛かってきた。
- ◇重電…作業量減少し資金繰り厳しい。
- ◇電化機器…当月生産高は、対前年比7百万円減の686百万円(前月比34百万円減)。内訳は、自動車関連で8百万円の微増、家電関連で20百万円の減。
- ◇自動車部品…売上高はやや持ち直してきているがまだ3年前の同月比より低く、依然として厳しい。
- ◇工業団地(農機部品)…売上状況は、前年同月比全7社でマイナス。全体で前年比72%。

非製造業

- ◇セメント卸…袋セメント出荷状況はマンション建設の激減等、民間設備投資の減少から二桁台の減少で推移。
- ◇水産卸…精算所取扱高は前年同月比4.63%の減。11/7「みとっぼわくわく感謝市」を開催。一般の買い物客で大いに賑わった。
- ◇県西地区卸売業…依然低迷状態。商品量増加もデフレにより単価が低くなっているため利益に繋がらない。
- ◇県南地区共同店舗…売上の下げ幅が今年最大を記録。

- 同様に客数も減少。特に衣料品の落ち込みが大きい。
- ◇県北地区共同店舗…店舗移設により歯抜け状態だったスペースを集約したが、苦情が相次ぎ改善策が急務。
- ◇家電…地デジの間合せが増加。地域店として総務省の地デジへのアドバイス活動として「戸別訪問」を推進しており、見込客発掘と年末需要に大きな期待を持っている。
- ◇クレジット…景気回復の兆しが見られない。
- ◇書籍…売上減少が続いている。IT業界から出版業界へ進出した業者と業務提携し、書店業界の低収益体質を打破する取り組みがなされている。
- ◇石油…ガソリン販売価格は全国平均より4円安い全国最低価格。収益の改善は見られず廃止・廃業に追い込まれる組合員が増えている。
- ◇中古自動車…オークションへの出品台数が少なく成約率も悪い。記念オークションや色々な企画も出品台数増加に至っていない。
- ◇ホテル・旅館…不景気のためか旅行者の動きが鈍く宿泊者が激減。
- ◇自動車整備…県全体の検査台数(指定整備は除く)は、普通車が0.3%減少、軽自動車は2.5%増加。両車併せての業務量は0.6%の増加。
- ◇総合建設…官公需の発注は小規模ながら土木工事は好調に続いているが建築工事は低調で推移。第2から第3四半期に土木工物件の発注が集中したため各社監理技術者の不足が見られる。
- ◇交通安全施設業…水戸財務事務所は景気を持ち直しの動きがみられると判断しているが実感はない。
- ◇管工事…土浦を含む県南エリアでは前月並みを維持。他は全て減少・悪化の傾向は変わらず。
- ◇県北地区運輸…主要顧客の出荷物量は1年前の水準には戻っていない。売上高減少の中、燃料価格が高止まりとなっており収益を圧迫している。
- ◇県央地区軽貨物…組合員収益の悪化が著しく組合の経営状況は非常に苦しい。県内地区顧客への営業拡大を展開中。

H21.11月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品業		▲ 33.3	▲ 66.7		
その他業		▲ 65.0	▲ 80.0		
卸売業		▲ 50.0	▲ 75.0		
小売業(商店街を含む)		▲ 90.9	▲ 81.8		
サービス業		▲ 50.0	▲ 50.0		
建設業		▲ 60.0	▲ 60.0		
運輸業		▲ 100.0	▲ 100.0		
全体		▲ 66.0	▲ 76.0		

【天気図の見方】県内情報連絡員が毎月いただいている情報連絡員の景況項目について、「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(DI値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はDI値